



JR九州システムソリューションズ株式会社
JR Kyushu System Solutions Inc.

Purpose Voices





私たちの毎日は、
コツコツとした積み重ねの連続。
一行のコードや一つの工夫、
その歩みをチカラに変えて、信頼を築いてきた。



業務本部・企画本部兼務 Kさん（2021年入社）

JAMPSってメニューもすごく大量にあって、聞いたことないメニューの問い合わせとか、どこから手をつければいいのかというの最初は苦労しました。

未経験だったので3年で辞めるかなって思っていたんですけど、そういうこともなく、分かることとかできることがだんだん増えていって、またエラーが出た時に問い合わせが個人宛に来たりするので、「信頼」みたいなものもあるのかなと思います。

楽しめるようにもなってきたと思います。

結構生き生きしている気がして、そこは当社らしさかなというのは思います。新しいことにどんどんチャレンジして、やっぱり経験値を上げていきたいなと思っています。

ビジネスサポート部に来て13年くらいですかね。
もう炎上してる中で入ってきたような世代ですね。

障害が起きたら「なぜこれが起きたんだろう」と、何が正解かが分からないという中で、何が正しいのかというのを探していくというのが最初の仕事でしたね。

毎日分からないことも結構多いので、調べることばかりという。

毎月毎月の業務を必ず間違いのないように的確にやっていくことは、やっぱりそういった「信頼」というのに繋がっているのかなと思います。



業務本部 Nさん（2007年入社）

福岡だけじゃなくて鹿児島まで、各地で自分が作ったシステムが使われてるということは、すごくやりがいも感じますし、実際にコードも書いてみて、それを実行したときに、思っていた通りに動いた時というのはワクワクしますね。

達成感があるというか、その瞬間は結構個人的に好きな瞬間です。

これから外販にもっと力を入れていくというところで、会社の規模がもっと大きくなっていくのかなと個人的に思うので、みんなで規模を大きくしつつ、他の会社からも信頼されるような会社になっていきたいと思います。

デリバリーセンター・企画本部兼務 Tさん（2022年入社）





「全国相互利用」というSUGOCAを全国で使えるようにするような案件があって、そこで配属されて、生活に身近なところをやってますし、実際、試験場で券売機とか使ってテストしたりして、役に立ってるというか、そういうモチベーションはずっと高かったかなと思います。

自分の成長というか、何もしてないと多分つまらないですね。

若い人達やエンジニア以外の人も増えているので、そういった人たちが活躍できる環境が整っていけば良いなと思っています。

顧客本部 Kさん (2007年入社)



その信頼を原動力に、
自分たちのワクワクも、
お客さまや地域のワクワクも、
確かなカタチにしていこう。



自然冷媒ガスを一番最初に紹介された時って、全く関心がなくて、ぱっと見で説明されてもちんぷんかんぷんだし、「何だろうこれ」という。

自分なりにちょっとパウポに起こしていってみると、「あれ？」と、これってもう本当に世の中の役に立つというか、これからこれを導入することによって皆が「幸せ」になるっていうとおかしいですけど、「笑顔」になれる商材じゃないかなというところで、じゃあこれをやっていきたいという思いが芽生えました。

新しいものを見つけたな、みたいなワクワク感がありましたね。

事業開発本部 Wさん（2004年入社）

やっぱり結構仕事って、自分が思ったこととか企画したことが実現していくのってすごく楽しいかなと思っていて、みんなで一つ一つ積み重ねた結果が形になった時に、やっぱりこういうのが大事なんだなという経験になると思うんですよね。

思い描いているような成功に辿り着くのは一足飛びでいくことはほとんどなくて、一個一個の積み重ねだと思うんですよね。

採用の場面などで、よく私が話していた当社のいいところというのは、大きい会社と小さい会社の良いところができるところかなと思っていて、例えば部長・本部長・社長みたいな形で3人突破すればいろんな企画が通るんです。

結構新しいことを始めるのにはすごく適した会社なのかなと思っています。



基盤本部 Sさん（2015年入社）

そして、ワクワクがあるからこそ、
私たちはまた、コツコツを重ねられる。

それぞれが仕事の中で自己実現したいことが多分あるんだらうなと思っていて、それができる会社になったらいいなと思っています。

あと、JR九州グループのいいところなんですが、誰かに聞けば人をつないでくれるんですよ。なのでそういう「見えない資産」というか、業務ノウハウみたいなものも、そのJR九州グループの一員であることの一つの大きな資産だなと思います。

当社らしさは「自由」かなと。というか、社員に裁量を与えてもらってる感じはしますよね。

若いみなさんにも、自分のやりたいことを見つけられるといいと思うし、自分がやりたいことが見つからない時は、与えられた仕事の中で楽しさ、面白さみたいなものを見出してもらえればいいんじゃないかなと思います。

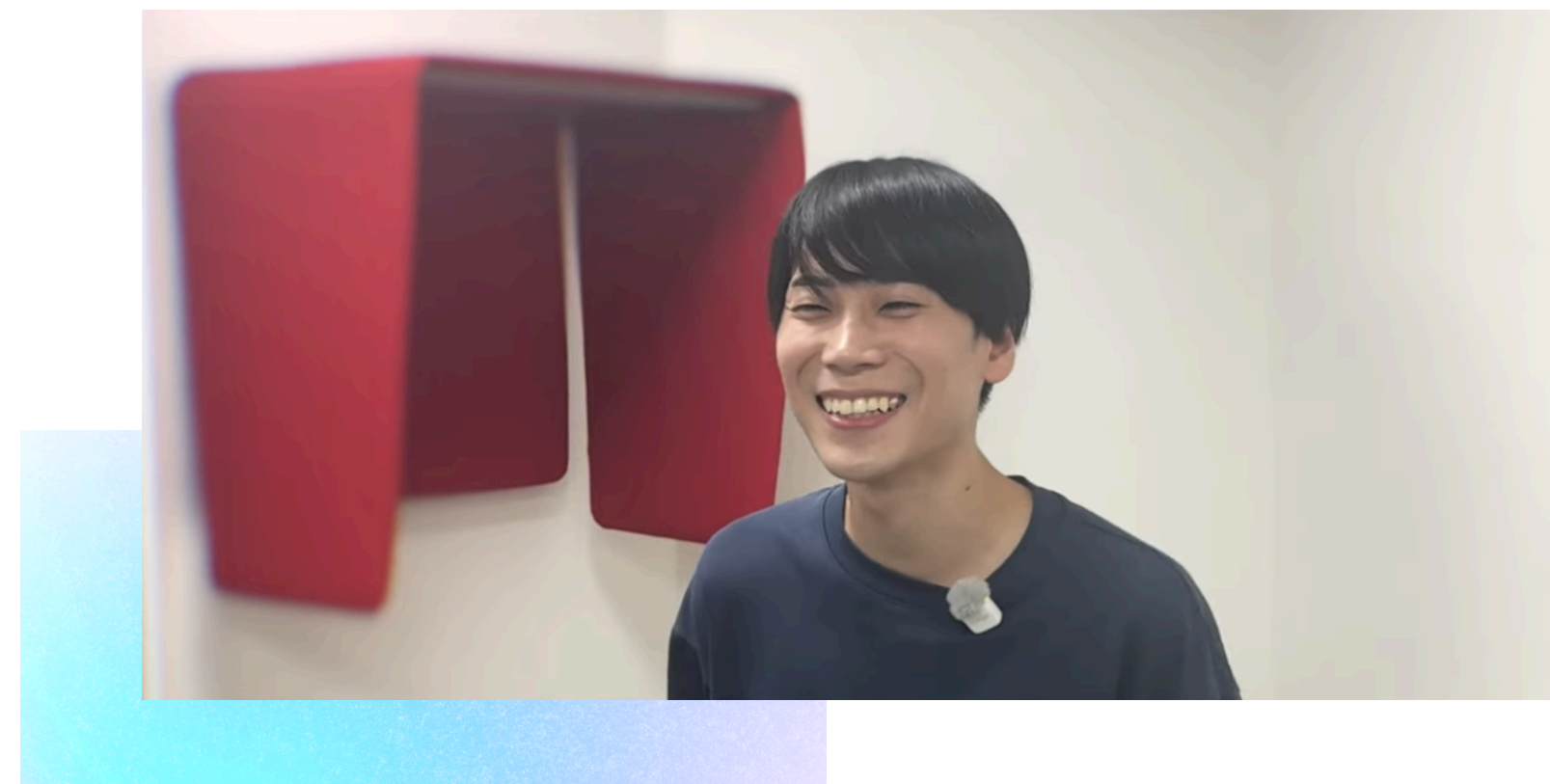
事業開発本部 Sさん（2007年入社）



私たちは、ものづくりで社会に貢献したい。

これやりたいと言ったら基本的にはやらせてくれるようなところなので、「出る杭打たれる」ということはなく、何か頑張ろうとすると応援してくれるようなところはやりやすいのかなと思います。

何かのびのびと仕事してるからかもしれないです。



顧客本部 Mさん (2022年入社)

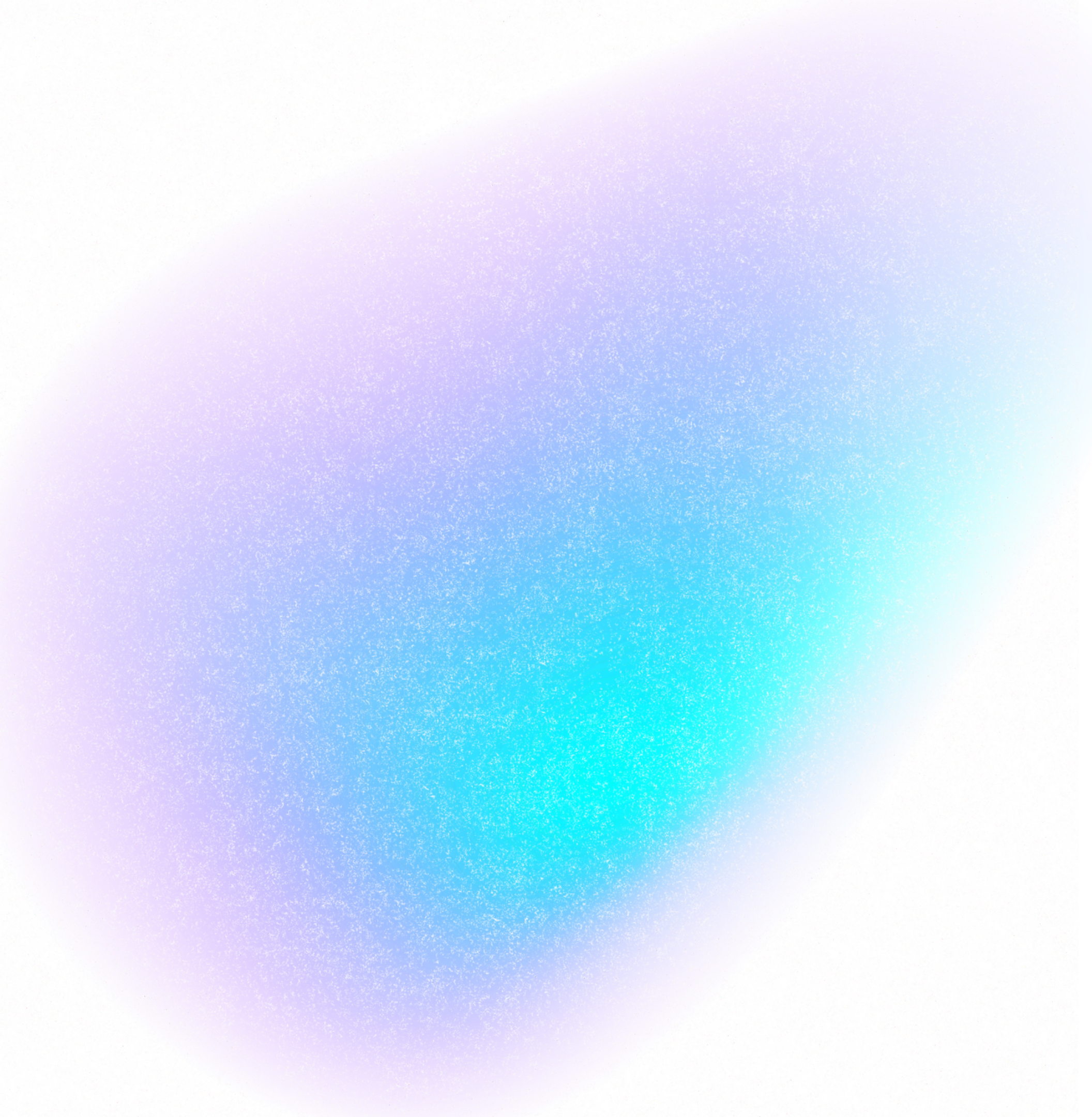
まあ、多分、一人では全然できないものだと思うんですけど、最初、私がネットワークの担当をしてるときって2人とかだったんですね。

今はネットワークの部署だけでもう部としてできていて、人も後輩とかも入ってきていて、もう10人くらい。

先輩とか後輩とかとも力を合わせてやっていけるってことだけでも、それだけでも、もう力になるんだなと。

基盤本部 Kさん (2013年入社)





それは未来をつくり、地域を元気にし、
やがて世界を豊かにしていく。

1人じゃないというところは強く感じているので、「前向きに取り組む」というところをやっていくことで、いろんな方へのいい影響もあるんじゃないかなと思います。

誰かが挑戦していると自分も挑戦してみたいくなるというのは私自身もありましたので。

時にはしっかり休みを取ったり、気分転換をしたりしながら、失敗を恐れず前に進むと、それがいつかいい思い出になるというか、自分の糧になると思いながらですね。

まだまだこれからの会社だと思っているので、「学んで」「作って」「挑戦して」、振り返るところはちゃんと振り返って次に活かすみたいな、そういったのがどんどん広がっていくといいなというふうに思っています。



企画本部 Aさん（2016年入社）



私たちらしさを楽しみながら、
どんなときも共に、
ワクワクできるものづくりの会社へ

さあ、楽しんでいこう



JR九州システムソリューションズ株式会社

JR Kyushu System Solutions Inc.